向陽高等学校研究推進部通信

QUEST FOR TRUTH

- 真理を求めて世界へ羽ばたけ

第６号
平成 28 年
９月５日発行

２学期がいよいよスタートしました。世界の国々では９月が新学年のスタートというところも多いです。向陽生も、５月～９月にかけて続々と留学のため世界各地へと出発しました。そんな皆さんから現地レポートが届いていますので紹介します。

Hi! We live here now!!

美波里さんのフィリピンレポート

みなさん元気ですか？？ フィリピン派遣の崎山美波里です。フィリピンに来て１ヶ月が過ぎたので、その報告をしたいと思います。

まず、私が住んでいるところは、フィリピンのパラワン島という島で、１年を通して暖かく、雨季である６月から 12 月もそんなに雨は降りません。また、台風の影響も少なく、自然の多い、主に観光が盛んな島です。

言語はタガログ語と英語があり、多くの人がどちらも話すことができます。フィリピンでは保育園くらいから、英語を教えているようで、私の学校の教科書はタガログ語の教科書以外は全て英語で書かれています。

この１ヶ月でわかったことは、フィリピンの人は食べることが大好きだということです。私のホストファミリーもそうですが、とにかく食べることが好きで、学校ではランチタイムとは別に午前と午後に１日２回、お菓子を食べる時間もあります。その時間は、みんな食堂に行って好きなものを買うことができます。最初は、まだ朝ごはん食べたばっかりなのになあと思っていた私も、いまではその時間になるとお腹がすくようになっています。食事は基本的に肉や魚が多く、野菜はあまり食べてないよう感じますが、綺麗でスタイルのいい人が多いので不思議です

それから、フィリピンでは家族や、親戚、知り合いなどをとても大切にしています。特に、おじいちゃんとおばあちゃんを大事にしていて、私のホストファミリーは毎週日曜日に、おじいちゃんの家にみんなで集まり、ご飯を食べます。その時に、畏敬の念を表す為に、おじいちゃんの手を自分の額にあてて、「マノポ」と言うことも教わりました。これは、自分より年上の人が家に訪れたり、親戚に会う時も良くやることだそうです。まだまだ驚いた事や気付いたことはありますが、また次のマンスリーレポートに書きたいと思います。

では、三年生は受験勉強頑張って下さい！私も頑張ります！

沙也さんのブラジルレポート

ブラジルについてあっという間に三週間が過ぎました。私のホストファミリ-はホストファザー、ホストマザー、ホストシスターが二人ですが、一番上のシスターがちょうど今上海に行っていて、もう一人のシスターは私と入れ違いで日本に留学しています。ホストファミリ-はとても親切で、先々週末には日本人街「リベルダージ」に連れて行ってもらいました

来て１日目から驚きの連続です。フラジルでは共働きが多く、家政婦を雇う家庭があるらしく、私の家族も雇っています。日本では、一度もみたことがなかったので、距離の取り方がまだわからないのですが、とても料理が上手で、既に自分の体重が心配です。

私の通っている学校は朝の７時に始まり、昼の１２時までに授業が終わると生徒は完全下校になります。午後は授業もなくそれぞれの好きなことにあてることができるのですが、日本では放課後クラブ活動などがあったので、たくさんの人と交流できる機会がないのは残念だと思いました。しかし、ブラジルは皆フレンドリーで、先生と生徒や、先輩と後輩の距離が近く、休み時間に一緒にスポーツをしているところを見かけたりします。休憩時間は教室内にいてはいけないので、生徒は図書館やピロティ、食堂などそれぞれがすきなように過ごしています。私は主に、友達と食堂に行ったり、スポーツに参加させてもらったりしています

私の学校ではいなかったのですが、クラスメイトがお菓子を手作りし、それを売っている光景を目にし、ホストマザーに話したところ、私も学生時代はやっていたとまたしても驚きの答えが返ってきて、今までと全然違うところが思いしろいです。